

△使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないでください

(1) 患部が化膿している人。

(2) モノアミン酸化酵素 (MAO) 阻害剤 (セレギリン塩酸塩等) で治療を受けている人。

2. 長期連用しないでください。



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

(1) 医師の治療を受けている人。

(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。

(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(4) 次の診断を受けた人。

高血圧、心臓病、糖尿病、甲状腺機能障害、緑内障

(5) 高齢者。

本剤は、副腎皮質ホルモンを含有する点鼻薬であるため、免疫抑制作用により、生体の感染防止機能が低下し、細菌、真菌などによる皮膚感染症を増悪させることがあるので、患部が化膿している人は使用できません。

モノアミン酸化酵素 (MAO) 阻害剤はカテコールアミンの蓄積を起こし、本剤の交感神経刺激作用を増強するおそれがあります。急激な血圧上昇を起こすおそれがありますので、モノアミン酸化酵素 (MAO) 阻害剤で治療を受けている人は使用できません。

本剤は、症状が出た時に使用する対症療法薬で、長期に使用するものではありません。漫然と長期に使用すると副作用があらわれるおそれがあるので、症状がよくなった場合は使用を中止すべきです。本剤には、塩酸テトラヒドロゾリン (血管収縮剤) が配合されており、長期や過度に使用すると、かえって二次的な充血、鼻閉を起こすので注意が必要です。また、本剤は副腎皮質ホルモンを含有する点鼻薬であるため、漫然とした使用を避ける為の注意です。

更に、短期の使用で症状がよくなる場合には、他の疾患の疑いも考えられます。

共通事項解説〔3〕参照

共通事項解説〔4〕参照

共通事項解説〔5〕参照

塩酸テトラヒドロゾリンは交感神経刺激作用により、末梢血管を収縮して、血圧を上昇させるため、心臓病、高血圧、甲状腺機能障害¹⁷⁾、緑内障¹⁸⁾の人が使用すると疾患を悪化させることがあります。

また、肝臓のグリコーゲンを分解して血糖を上昇させるため、糖尿病の人が服用すると疾患を悪化させることがあります。よって、これらの診断を受けた人は本剤の使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談する必要があります。

用語解説 17)、18) 参照

高齢者は一般に代謝・排泄機能が衰えているため、薬剤が蓄積されて、作用が強くあらわれることがあるので、本剤を使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談することが必要です。

【使用上の注意】

【解 説】

共通事項解説はこちら

2.使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるため、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
精神神経系	眠気、頭痛、めまい、ふるえ、不眠、脱力感
鼻	はれ、刺激感、熱感、乾燥感、鼻みず
その他	血圧上昇、動悸、不整脈、口の渇き、味覚異常

3.3日間位使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

＜用法・用量に関する注意＞

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)過度に使用すると、かえって鼻づまりを起こすことがあります。
- (3)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (4)点鼻用にのみ使用してください。
- (5)目には使用しないでください。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わります。）。
- (4)他の人と共用しないでください。
- (5)使用期限（外箱及び容器に記載）をすぎた製品は使用しないでください。

本剤の使用により、人によってはこれらの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合には使用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談していただくための注意です。

3日間位使用しても症状がよくなる場合は、他に原因があることも考えられます。症状がよくなるまま使用を続けると悪化することも考えられるため、医師、薬剤師又は登録販売者に相談していただくための注意です。

共通事項解説〔7〕参照

共通事項解説〔6〕参照

点眼薬、点耳薬として使用しないための注意です。

目薬と容器が類似しているため注意喚起を行っています。本剤は、点眼剤（無菌製剤）ではありません。

共通事項解説〔9〕参照

共通事項解説〔10〕参照

共通事項解説〔11〕参照

容器を介して感染することがあります。

共通事項解説〔14〕参照